

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（9月分）

国際地域学部 3年 高橋大輔

留学先：ヴィリニウス大学 / リトアニア

改めまして、こんにちは。国際地域学部 3年の高橋大輔です。前半の春学期に続き、さらに半年間リトアニアのヴィリニウス大学にて交換留学をさせていただいております。今回の月例報告書では、主に学期スタートの諸事項に関してより詳細な情報を記載しています。冗長な文章が続きますが、ご一読いただければ幸いです。 ※以下、2019年におけるスケジュールを記載するため、2019年以降では曜日・日程等で若干の食い違いが発生することがあります。ご了承ください。

目次

1. 秋学期スタート
2. 履修登録（長め）
3. Moodle
4. 学生証
5. 留学日記
6. 成長

1. 秋学期スタート

ヴィリニウス大学の年間スケジュールによると、夏休みは7月1日から8月31日まで設けられており、8月30日から9月4日までが正規入学生及び留学生のためのオリエンテーションウィークがあります。オリエンテーションが終わって翌日の9月5日(木)から講義期間がスタートするのですが、私はこの夏休みの期間を利用して日本に一時帰国して

いたため、リトアニアに到着した9月9日(月)から私は授業を受け始めました。このとき不安だったのが履修登録でした。



2. 履修登録

履修登録には二つの段階があります。一つ目の段階は、**Learning Agreement** です。夏休みなどの長期休暇の段階で大学側に前もって履修したい授業を知らせることによって好きな授業を取れる、いわばコース予約システムです。留学を始める少し前の話になりますが、留学申請の提出項目として添付された **Learning Agreement** の記入が要求され、そのとき私は福井大学職員の方々の御協力のもと日本から無事提出することができました。しかし、二学期にわたって留学をする場合、その二学期目が始まる前にも **Learning Agreement** を提出しなければいけないということを秋学期が始まる直前まで知らずに、そのまま講義期間がスタートしてしまいました。

このような場合でも、一つ目の予約の段階を無視して直接二つ目の段階、つまり履修登録に進むことが可能です。ヴィリニウス大学では講義期間がスタートする9月5日(木)から9月13日

(金)までの一週間余りが履修登録修正及び確定の期間として設けられています。この期間では、ある授業に関して興味があれば、出席して指定された用紙に教授のサインを貰うか、どうしても出席できないようであれば各学部のアドミニストレータを訪ねてその人のサインを貰い、期日までに旧市街キャンパスにあるインターナショナルオフィスの職員に渡せば履修登録完了です。ただし、私のような Learning Agreement を提出していない学生、Learning Agreement は提出したが取りたい授業が変わった学生、また、授業の曜日が重なっていて修正せざるを得ない学生などは、満員で取れない授業もあることを考慮しなければいけません（経験論ですが、満員で取れない授業はヴィリニウス大学 HP の Courses in foreign languages リストにある Description に“GROUP IS FULL”と書かれているので確認可能かと思われます）。

Learning Agreement の入手方法ですが、一学期目は留学申請の項目からアクセスできます。二学期目に関しては、1年間留学をしていた人達にも訊きましたが、結局のところどうすれば入手できるのか分かっていません。申し訳ないです。提案として、長期休暇に入る前にインターナショナルオフィスの職員の方々に直接訊くのも良いかと思えます。

余談です。前述したとおり留学生はオリエンテーションで配られる用紙を使って期日までに提出することによって履修登録ができますが、正規生の場合はオンラインでの履修登録も可能らしく、履修登録最終日の9月13日(金)の段階でヴィリニウス大学に行く必要はないそうです。一見すると、留学生に対してもオンライン履修登録を許可した方が良いように感じますが、紙ベースであるからこそ Wi-Fi や大学専用のメールアドレスなどといった留学初期の厄介な問題を回避できることを考えると、何でもオンライン化すれば良いという事でもないと思いました。

3. Moodle

Moodle とは、ヴィリニウス大学の HP にある学生用のページを指します。ここでは、自分が受講している各コースの課題や授業 PPT、添付資料等にアクセスできます。ヴィリニウス大学のほとんどの授業ではこの Moodle が使われています。中には、Facebook のグループを使う授業や、Dropbox というアプリを使う授業もあり、何をを使うかは教授によって異なります。Moodle にアクセスするには大学専用のメールアドレスとパスワードが必要ですが、これらのセットアップはオリエンテーションで手に入るパンフレットを参照すれば大丈夫です。



4. 学生証

ヴィリニウス大学では学生証の発行は義務ではありません。実際に学生証を持っている学生もいれば持っていない学生も沢山います。なぜ持たないのかというと、発行の手続きがかなり面倒という理由に尽きます。私自身、手続きがややこし過ぎてもはや覚えていません。ただ、一つ覚えているのが、「学生証発行のためにはリトアニアもしくはヨーロッパの銀行口座が必要」のためリトアニア人の友人に代理で発行してもらって、後で料金を返金するという思い出です。

こんなヴィリニウス大学の学生証ですが、所有するメリットは三つあります。第一に旧市街キャンパスの図書館を利用することができます。図書館の階段や床のギシギシ感がヴィリニウス大

学の 440 年の歴史を語っているように心地良く耳に響きます。第二に、大学で印刷をすることができます。オリエンテーションで配られる資料を除いて基本的にデジタル化が進んでいるので、印刷をする機会は実際のところ旅行や帰国のときの航空券くらいです（これも印刷の必要はなくオンラインで済むかもしれませんが）、大学外で印刷ができる場所を事前に把握しておいた方が良いのは確かです。第三に、学生証は将来いつかまた見返したときに留学していた頃の記憶を想起させる特別な記念品になるでしょう。

店舗などでの割引に関しては、普段は福井大学で前もって発行しておいた国際学生証を使っています（リトアニアでも同じものが発行できます）。ヴィリニユス大学の学生証は留学生専用のためか、生年月日などは記載されておらず、割引には使えない場合があります。

5. 留学日記

ある人の影響を受けて秋学期から留学日記をつけることにしました。誰にも見せることなく、その日あった出来事を自由に書いています。ある瞬間の感情に目を向けて言語化するのはとても難しいのですが、だからこそ冷静にその日の出来事、他人の考え、それらに対する自分の感情と考えを記録することで物事を忘れがちな自分に対する将来的貢献をしつつ、「今日も書いてやったぞ!」といった小さな達成感を日々感じています。

6. 成長

それにしても周りのみんな凄いなあと最近よく思います。壊滅的だった春学期と比べて福井大学の友人らと連絡を取ったり近況を確認したりする機会がずいぶんと増えてきましたが、話していると彼らの精神的な強さとか周囲を見る目がよく伝わってきて、カッコいいなあと感じます。ここで「自分なんて足下にも及ばない」と言うのはある種の反則な気もしますが実際そう感じることも多々あるので、彼らに負けないうちからも頑張っていきます。

